

平成 27年 05月 22日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

太陽サンサン瀬戸の家

グループの名称

瀬戸内住宅研究団

直近採択グループ番号

04-0465-0418

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

近藤 博

代表者印

代表者所属先

株式会社藤工務店

代表者構成員番号

VI-2

代表者所在地

愛媛県今治市石井町1-1-9

代表者電話番号

0898-33-1222

(グループ事務局)

事務局事業者名

伊予木材株式会社二級建築士事務所

事務局構成員番号

V-1

事務局担当者名

佐伯 保

印

事務局郵便番号

791-8036

事務局所在地

愛媛県松山市高岡町437

事務局電話番号

089-946-6737

事務局FAX

089-973-8101

事務局担当者E-mail

cad@iyomoku.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	太陽サンサン瀬戸の家
2. グループの名称(必須)	瀬戸内住宅研究団
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0465-0418
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	愛媛県・香川県・徳島県
5. 結成年(必須)	2014 年
6. グループ代表者名(必須)	近藤 博
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社藤工務店
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	愛媛県今治市石井町1-1-9
10. グループ代表者電話番号(必須)	0898-33-1222
11. グループ事務局事業者名(必須)	伊予木材株式会社二級建築士事務所
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	V-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	佐伯 保
14. グループ事務局郵便番号(必須)	791-8036
15. グループ事務局所在地(必須)	愛媛県松山市高岡町437
16. グループ事務局電話番号(必須)	089-946-6737
17. グループ事務局FAX番号(必須)	089-973-8101
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	cad@iyomoku.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	原木供給業者が海外であるため本申請において、該当事業者の原木出荷が適合していることを以下にて示す。 PEFC森林認証制度証明書の添付。原木の産出国がわかる書類のひな形の添付
II. 製材・集成材製造・合板製造	5	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	2	
V. 設計	1	
VI. 施工	6	
VII. 省エネルギー設備等の流通	2	
VIII. 木材を扱わない流通	2	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	PFウッド 桧・杉	高知県・広島県・岡山県	合法性証明制度	3	国内
	PFウッド 米松	米国	合法性証明制度	3	国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計 26 戸		地域材加算合計 26 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 26 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 0 戸		
	うち申請が確実 9 戸	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 9 戸	
	うち申請が未確定 17 戸	うち申請が未確定 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 17 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 0 戸	地域材加算合計 0 戸		
	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸		
	うち申請が未確定 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 0 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 0 戸	地域材加算合計 0 戸		
	うち申請が確実 0 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸		
	うち申請が未確定 0 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 0 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 0 棟	0 m ²		
	うち申請が未確定 0 棟	0 m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	参加工務店に対し均等に配分とし、その後、経過を考慮し、申込み先着順とする。			
---	---------------------------------------	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 5 戸	交付申請戸数 5 戸	竣工済 2 戸	竣工予定 3 戸
	木造建築物			
	採択棟数 0 棟	採択床面積 0 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 太陽サンサン瀬戸の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県・香川県・徳島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 瀬戸内住宅研究団	(結成年) 2014年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0465-0418	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地震や風荷重を考慮し、許容応力度設計を実施。更に、偏心率計算では、建築基準法よりも厳しい0.2を確保を原則とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	節水対策として雨水タンクの設置もしくは、節水型便器を設置する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	冬の日差しを取り入れ、夏の日差しを遮る、開口部を重視したサンサン設計。風の流れを考えた間取りとする。	○
④①～③の背景	夏の季節風は四国山地に遮られる。冬の季節風は中国山地によって各々遮られる。このため年間を通じて天気や湿度が安定しており、降水月が、梅雨時期と秋雨・台風時の二峰性となっており、二峰の間の盛夏の降水量は著しく少なく雨温図上大きく凹むことが、最も顕著な特徴となる。 また、瀬戸内海西部地震はフィリピン海プレート周辺のプレート活動が原因だと言われており、過去にも1649年、1686年、1857年、1905年、2001年に大きな地震が起きており、M7級の地震が生じている。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	節電対策としてLDKにエアコンを設置する場合、2010年度省エネ基準達成率100%以上のものを設置	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	グループ内で、建材・住宅設備等の購入先を選定し、工務店の購入金額を取り決めたカタログを作成し、下記積算の実施で、価格安定を図る。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	グループ共通のCADシステムへ入力し、積算変換システムにより、個別それぞれの積算を実施。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	グループ施工構成員代表者による、合理化等に向けた検討会議を最低半年に一度行う。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	上記会議による議案・決議の取りまとめ。	◎
b		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	グループ共通のCADシステムを利用し、指定されたプレカット工場で統一された加工をし、グループ共通の施工マニュアルに則って施工していく。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	施工写真の必須箇所(施工前、地盤、基礎、仮設、木工事、完了)を指定し、現場施工管理の記録を残す。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	積算データと発注データを連係させ、積算の正確さおよび、工務店・建材納材店の効率化を図る。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	グループ共通の工事管理シートによる現場管理。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	引き渡しの際、施主に上記管理シートの提出	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 太陽サンサン瀬戸の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県・香川県・徳島県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 瀬戸内住宅研究団	(結成年) 2014年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0465-0418	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	グループ共通の定期点検確認書により、定期点検を実施し、点検項目の蓄積を行う。	
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化		◎
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	建築現場全棟の維持管理計画書の点検実施時期を年度毎に纏めたスケジュールを作成し、社内に掲示して点検実施を確実に行う。	◎
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	OB宅に定期訪問し、現状住まいの悩みや相談に応じる。 メーカーショールーム等を利用し、リフォーム相談会にOB客を案内する。 建築士・設計士を交えた、新築・既築の住宅相談会の実施	◎
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	実施された定期点検日時と点検項内容を会議等にて公表、意見交換をしグループで共有を図る。	○
b	グループが提携する『住宅あんしん保証』の完成保証に加入する。	○
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制		○
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	グループが提携する『住宅あんしん保証』に加入する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入 してください。		
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	・仕様説明会の実施。 ・構成員の知識・技術向上の為、地域での勉強会の実施、または研修会に積極的に参加する。	◎
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催		◎
②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	・第三者講師による、住宅省エネルギー・建築基準法の法改正等 ・勉強会の実施は三か月毎に一回程度。研修会の参加は開催日程による。	○
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	・建築士・設計士を交えた、新築・既築の住宅相談会の実施、および構造見学会・完成見学会。 ・プレカット工場見学等ランクアップイベントを実施し、生産する住宅の信頼性を上げる。	◎
④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	・施工事業者 - 顧客への案内。TVCM、新聞折り込み等広告。 ・建材流通 - イベント内容・会場等の計画。 ・原木流通・プレカット工場 - 会場提供。地域材の特徴の説明。	○
b	・グループ内全施工事業者	◎
①省エネ技術講習会への参 加目標人数		◎
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	・改正省エネルギー基準等講習会の案内	◎
c	・新技術採用のモデル住宅の計画、および建設。	○
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法		○
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	・上記モデルにて、データを採取し、グループ内にて情報の共有を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入 してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 太陽サンサン瀬戸の家	(地域型住宅供給対象地域) 愛媛県・香川県・徳島県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 瀬戸内住宅研究会	(結成年) 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0465-0418	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位 (必須)	柱・梁・桁・土台	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合 (必須)	過半を使用する。	◎
	地域材利用に関する共通ルール (必須)	合法性証明を受けた構成員より供給されるものとする。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	原木供給者→製材・集成材製造→プレカット工場→建材流通(※構造材PFウッド等は現場へ直接搬入)→施工	○
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	構成員のみが利用できる専用ホームページに掲載される地域材の供給グループ(原木供給・製材・合板流通)が配信する出荷状況等の情報の提供を行い全構成員が情報を共有できる体制をとっている。	○
	②グループ全体における地域材の需給予測	一等平均7㎡以上の使用が見込まれる。	○
c	①-1 畳の活用		
	①-2 和瓦の活用		
	①-3 襖の活用		
	①-4 障子の活用		
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用		
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	まだ、この地域には伝統的な和風建築物も多く残っており、また新築においてもそれを望むエンドユーザーも多いことから現代の建築様式の良さも取り入れながら、地元工務店に受け継がれてきた和風建築の良さ・匠の技術も積極的にアピールしていく。	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組		
	③地域の街並み形成へ寄与する取組		
	④和の住まいの要素を取入れた取組		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。